

| | | | | |
|---|---|----------------|----|------|
| 科目名 | コミュニティ看護実習 I | 後期 | 実習 | 1 単位 |
| サブタイトル | | | | |
| 担当者 | 東 ますみ、小路 浩子、坂口 めぐみ、笹谷 真由美、中岡 亜希子、西原 詩子、小坂 素子、吉原 文子、柴田 明日香、大久保 和美、小枝 美由紀 | | | |
| [アクティブラーニング授業] | | | | |
| PBL(課題解決型) | ○ | 反転授業 | | |
| ディスカッション・ディベート | ○ | グループワーク | | ○ |
| プレゼンテーション | ○ | 実習、フィールドワーク | | ○ |
| その他 | | 実務経験のある教員による授業 | | ○ |
| <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設や在宅で生活(療養)する高齢者の身体的・心理的・社会的特徴を理解する。 2. 施設や訪問看護ステーションの利用目的に応じた高齢者のニーズと生活の実際を理解する。 3. 高齢者の生活を支える看護について考察する。 <p>[授業概要]</p> <p>看護師免許を持つ教員が、以下の概要について実習を行う。何らかの健康障害あるいは生活障害を持ちながらコミュニティの中で生活(療養)する高齢者やその家族に対する多様な看護援助を、訪問看護やリハビリテーション場面での見学を通して理解を深め、高齢者の生活を支える看護について学ぶ。</p> <p>[準備学修(授業前後の主体的な学修)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習にふさわしい身だしなみ、マナーを身につけ、健康状態を整えたうえで実習に臨むこと。 ・実習の学びを深めるために、実習前に学内で行われるガイダンスや事前演習に必ず参加し、事前課題に取り組むこと。 ・各回、予習復習合わせて2時間程度。 <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習に臨む前に「実習ガイダンス資料」「コミュニティ看護実習 I 実習要項」を熟読する。 2. 実習前に学内で行われるガイダンスや事前演習に必ず出席する。事前演習では、施設ごとのオリエンテーションを実施する。 3. 訪問看護ステーション及び介護老人保健施設において実習を行い、高齢者の生活について理解を深め、必要な看護を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・実習先でのオリエンテーション ・介護老人保健施設における入所部門や通所サービス部門の見学 ・訪問看護ステーション実習における訪問看護師との同行訪問 ・高齢者への看護、リハビリテーション・レクリエーション場面の見学 ・高齢者とコミュニケーションをとる 4. 実習中は適宜デイリーカンファレンスを行い、実習で感じたこと、気づいたこと、疑問などをディスカッションし、メンバーと共に学びを深める。 5. 実習最終日は、学内でカンファレンスを行い、高齢者の生活を支える看護と自らの課題について考えを深める。 | | | | |

| | | | | |
|---|---|----|----|------|
| 科目名 | コミュニティ看護実習 I | 後期 | 実習 | 1 単位 |
| サブタイトル | | | | |
| 担当者 | 東 ますみ、小路 浩子、坂口 めぐみ、笹谷 真由美、中岡 亜希子、西原 詩子、小坂 素子、吉原 文子、柴田 明日香、大久保 和実、小枝 美由紀 | | | |
| <p>[成績評価方法]</p> <p>実習の目標に関する到達度(80%)、レポート・記録物の提出(20%)を総合的に評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>学生との個別面接時に助言する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護1-1/(プロフェッショナリズム)生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:実習の目標に関する到達度やレポート・記録物から総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護1-3/(人が病むことへの関心と理解)生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:実習の目標に関する到達度やレポート・記録物から総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護2-3/(倫理実践と道徳的態度)看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:実習の目標に関する到達度やレポート・記録物から総合的に評価する。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習の目標に関する到達度やレポート・記録物から総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習の目標に関する到達度やレポート・記録物から総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:実習の目標に関する到達度やレポート・記録物から総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:実習の目標に関する到達度やレポート・記録物から総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実習の目標に関する到達度やレポート・記録物から総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実習の目標に関する到達度やレポート・記録物から総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習の目標に関する到達度やレポート・記録物から総合的に評価する。</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>別途実習要項とプリント配布。</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>電子テキスト 「ナーシング・グラフィカ 老年看護学①高齢者の健康と障害」第6版 著者名:堀内ふき、諏訪さゆり、山本恵子 出版社:メディカ出版 (978-4-8404-7208-1) 「ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア」第7版 著者名:臺有桂、石田千絵、山下留理子 出版社:メディカ出版 (978-4-8404-7543-3)</p> | | | | |